箏と三弦の音色で春を呼ぶ

翠染会

三国街道塩沢宿ひな雪見かざり」が行われている牧之通り塩沢信用組合本店で9日、翠染会有志による「箏・三弦演奏会」が午前と午後の2回開かれた。

毎年、同演奏会を主催する塩沢の小林益子さん(75)をはじめ、「翠染会」湯沢町のメンバー南雲久美子さん(76)、高橋えり子さん(61)、登坂るり子さん(61)の4人が箏と三弦が奏でる「春の調べ」で訪れた市民や観光客を魅了した。

「古今の調べ」「八千代獅子」に続いて「春の歌」では、春よ来い、春が来た、春の小川、ちょうちょの4曲メロディーで演奏しそれらの演奏に合わせて来場者ともに合唱し、「さくら舞曲」「子箱の玉章(たまづさ)」「さんさんさくら」を披露した。アンコールでは再度、「荒城の月」の演奏に合わせて来場者とともに歌い、演奏会は終了した。小林さんは「多くの皆様に来ていただき嬉しい。来年もこの演奏会が開けるように精進し、頑張る」と意気込んでいた。

箏と三弦の音色で春の調べに聴き入る(＝10日、牧之通り、塩沢信組本店)

BAKAのひとつ覚え ㉞

神保貴雄

～いつでも微笑みを～

いつも御RUNBAKAいただきまして、ありがとうございます。

今号をもって魚沼よみうりさんが休刊するということで、最後のBAKAのひとつ覚えになりました。

僕がコラムを書かせていただいたのが2016年の年末からだったと記憶しています。2019年もRUNBAKAらしく活動をして参りますので、引き続き応援よろしくお願いいたします。

この2年間は僕にも非常に大きな転機が訪れました。

家業を継がずに、新しい道を切り拓くことに。

まさに「人生いろいろ、男もいろいろ」ですね(笑)。魚沼よみうりでは会えなくなってしまいますが、また六日町界隈で見かけたら気軽に声をかけていただければ嬉しいです。

そのときはハイボールを奢ってねん。

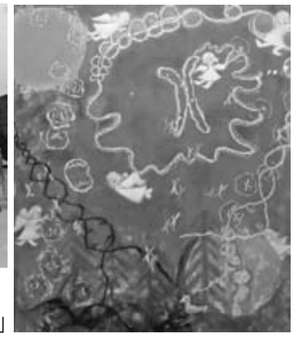
ブログやSNSでの発信はこれからも続けていきますので、またそちらでも仲良くしてくださいね。

それでは、また……笑顔で会いましょう！

神保貴雄＝じんぼ たかお
1980年5月生まれ、3児の父。南魚沼市六日町。「ジンボブログ」もよろしく！2018年より「ジンボラボ」として独立開業。
(http://jinbotakao.com/)

大賞に東京都の踊由記子さん

全国から250点 全国童画展



大賞作品
「天使たち『ゲノムの森を探検』」

授賞式には、妹の坂上史子さんが代理で出席

長岡市で生まれ、晩年は湯沢町で暮らした日本童画の父、川上四郎氏(1889年―83年)の偉業、功績をたたえる「越後湯沢全国童画展」表彰式が同展初日の2日、湯沢町公民館で行われた。

今回は、全国から206人(250点)の応募があり、県内からは30点(町内から6点)の応募があった。豊口協さん(前長岡造形大学理事長)、田村実さん(元福音館書店絵本編集長)、小松修さん(画家・現代童画会常任理事)による審査の結果、川上四郎記念大賞に東京都の踊由記子さん(32)が選ばれた。第20回の同展で「ホオズキ市」で入選している踊さん。今回の大賞受賞作品「天使たち『ゲノムの森を探検』」は、生命科学者である柳澤桂子さんの本をヒントに想像を巡らせて描いたという。

この日の表彰式には、踊さんが体調不良のため、妹の坂上史子さんが代理で出席した**Ⅱ写真Ⅱ**。

11日まで開催された同展では、入賞入選作品51点、川上四郎氏の原画19点が展示され、多くの来場者に感動を与えた。

第57代ミス駒子お披露目

湯沢温泉雪まつり

第67回湯沢温泉雪まつりが2日、湯沢高原特設会場グレンデをメーン会場に開かれ、特設の雪上ステージでは「第57代ミス駒子」が披露された。

越後湯沢を舞台にした川端康成の小説「雪国」にちなみ、湯沢町の観光をPRする「第57代ミス駒子」がお披露目された。

湯沢町の観光PR活動を1年間、行ってきた「第56代ミス駒子」もステージに登場し、新ミスの第57代ミス駒子へタスキが引き継がれた。

写真左から、新ミス駒子(第57代)の鈴木かおり、柳井麗亜さん、木下ふうかさん。前ミス駒子(第56代)の藤野真奈美さん、中里のぞみさん(＝3月2日、第67回湯沢温泉雪まつり会場の布場ゲレンデ)

【第57代ミス駒子】 写真左から・敬称略

●**鈴木かおり**＝1986年9月20日生まれ、湯沢町在住
▽特技＝書道、水泳
▽趣味＝スノーボード、音楽鑑賞

●**柳井麗亜(やないれいあ)**＝1988年11月14日生まれ、東京都在住、
▽特技＝水泳、ダンス、歌
▽趣味＝読書、編み物、韓国語の勉強

●**木下ふうか**＝1992年7月16日生まれ、東京都在住
▽特技＝人と楽しむこと、料理
▽趣味＝走ること、着物、池袋鑑賞、茶道、手紙を書くこと

星でも見ようか ㉙

風間浩一

空さえ晴れていれば、恒星や惑星は時期にもよりますが観たいものは見られます。

星にもフラッと表れてどこかに行ってしまう物があります。彗星ってやつですけど見たことありますか。

私はいくつか観ています。有名なところでは「ハレー彗星」「ウエスト彗星」「百武彗星」でしょうか。

1985年(昭和60年)の市民講座に「ハレー彗星を観よう」みたいなものがあって、参加したのですが初回は10名位いた受講生が数回目には2名ほどに。教えてくれる人がいないければそうなりますわね。

そんな中、1986年3月頃に「彗星観察会」の案内が来て会場に。雪原に三脚とフィールドスコープを設置して観ていると明け方近く地平線付近に何やらぼんやりしたものが……一緒に眺めたのは1910年の接近を観たという80余歳の方でした。

次の接近は2061年とのこと。

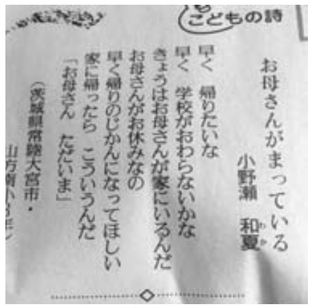
参考写真：1986年時のハレー彗星。彗星のようにどこへでもフラッと現れる様に成りたいもんです。

筆は幸いのモト！ ㉚

樋口尚人

このコラムの連載が始まった頃、髪の毛がふさふさで身長が一八三センチくらいあって目も二重でお腹もすっとしていた自分を懐かしむといった駄法螺話を臆面もなく書いていたところを見ると、ビジュアル的にはほぼ今と変わっていないであろうことが容易に想像できる、変わり映えしない男樋口です。現実的には髪の毛と記憶力と胆のうを失ったものの、しわとシミとカラダの痛い部分が増えたので、まあ行って来いでチャラと言ったところでしょうか。

読者の皆様はすでにご存じのことと思いますが、魚沼よみうりは今号で休刊となり必然的に「筆は幸いのモト！」も今回で終了となります。私が中PTA会長だった時に、小中学生



子どもは宝物です！

樋口尚人＝ひぐち なおと
1962年生まれ、南魚沼市八幡。駒澤大学文学部国文学科卒、南樋口鉄工所専務取締役。元北辰小、六日町中PTA会長。六日町地区青少年育成会会長

ありがとうございました

六日町動物病院
小宮山 毅

皆さん、春が待ち遠しい季節になりました。私は春のにおいが感じられる3月半ばから4月の季節が一番好きです。ほんわかと暖かい日差しが続くといいですね。

「魚沼よみうり」が一時休刊されるとのこと、大変残念です。思えば私も10数年間、不定期ながら本刊に寄稿させていただきました。動物が大好きな地域の皆様に、動物に関する情報を出来るだけお届けしようと思ってきました。その間、お正月号だけは何とか原稿を欠かさずに書けましたが、ほか本当に不定期で当てにならず読者の皆さんにはご迷惑をおかけしました。ずっと変わらなかった堅苦しく面白みのない私の文章にお付き合いいただきありがとうございました。

そして、いつもいつも原稿が遅くなり、紙面編集ではご迷惑をおかけした編集者様にも感謝申し上げます。21年間の長きにわたり地域の情報を届けて頂き本当にありがとうございました。

さて、今年はインフルエンザウイルスが猛威をふるっていましたが、皆さんはいかがでしたか。インフルエンザの流行を横目に、毎年話題になる高病原性鳥インフルエンザ発生の話は、ほとんどありませんでした。本当に幸いなことで、われわれ獣医師としては、少しホッとしています。

でも、今は豚コレラが大変な問題になっています。豚コレラは豚やイノシシに感染する死亡率の高いウイルス感染症ですが、人には感染しませんので、今まで通り豚肉は食べても大丈夫です。現在、豚コレラが発生した農場は、鳥インフルエンザ発生時と同じく全頭殺処分して蔓延を防いでいます。しかし、既に野性のイノシシの中に入り込んでしまっていることが、本当に厄介な問題です。感染した野生のイノシシを全頭摘発して処分することは困難ならないのは、重症熱性血小板減少症(SFTS)です。以前にこの紙面でも何回かお伝えしました。ダニが媒介するSFTSウイルスはほぼ全国各地に存在し、新潟県においても確認されています。ですから、ダニに吸血された犬や猫がSFTSウイルスに感染して、そこから人へも感染する事例が新潟でも考えられます。他人事ではなくなりました。犬猫にダニを付けないように環境に注意して、予防薬の投与をお願いします。

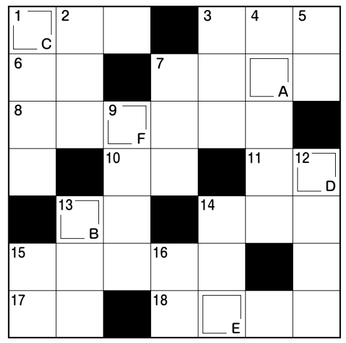
人も動物も様々なウイルスに感染する可能性があります。病気に対する正しい知識をもって、可愛いペットたちと安心して触れ合えるよう予防に取り組みましょう。そして、春のうらら かな気候を動物たちと楽しみましょう。

またいつか、本紙面上でお会いできることを楽しみにしています。ありがとうございました。

うちのスタッフの愛犬、高橋モコ、9歳、男の子です。

小宮山 毅＝こみやま たけし
1962年生まれ、南魚沼市岩崎。六日町動物病院長
(南魚沼市妻佐島)

マグナム・ハートのクロスワードパズル No.36



A	B	C	D	E	F

⬇タテのカギ
1 七匹の子やぎが引き受け、災難！
2 イケメン、ハンサム、二枚目とも
3 白馬に乗って、白雪姫のもとへ
4 ゴクゴク、ミネラルやトニック
5 氷や雪を金属にたとえると
6 結び目があるオデンの具
9 駐車違反で支払い、トホホ
12 クルリ、回して円を描く
13 育ち盛りは、色気よりこっち
14 エリを立てて、
　哀愁演じるならトレンチ？
15 臭い物にはコレ
16 カセットコンロのボンベの中身

➡ヨコのカギ
1 真っ赤な宝石
3 日本舞踊で手に持ちヒラリヒラリ
6 アサリを食べたらジャリッ
7 ⇔低温
8 棒棒鶏と書く中華
10 粉より大きい。米○○。雨○○
11 明石焼の中で、シコシコ
13 フキやアスパラは、
　もっぱらココを食す
14 豆はビーン。トウモロコシは？
15 イヤリングはイヤーに、
　リングはココに
17 かぐや姫、どうやって中に!?
18 溜めずに発散しよう！

【マグナム・ハート】
1957年生まれ、東京都在住。
35歳のとき専業主婦から雑誌投稿を経てパズル作家に。
パズル専門誌、携帯サイトなどに問題を提供。
2011年「連番禁止ナンプレ」を考案し問題集を出版（Amazonで販売中）。

魚沼歌壇二月号の歌

（歌誌掲載順）

就労か外つ国よりの娘らは　坂戸の橋に雪景を撮る　江口美枝子
ふる里の漬物と聞き嬉しくて　みるみる一皿平らげにけり　平賀　裕子
二年前国中沸かせた稀勢の里　今日引退の記者会見す　小宮ミツ
車無き車庫の除雪や睦月果つ　頼もし若人手伝いくれし　町田　睦夫
明け近く現に聞ける除雪車に　昔を思いなつかしみおり　佐藤きぬよ
冷え切りし白き大地を照らす陽よ　輝きまして立春を告ぐ　中島　知子
絵馬の数だんだん増えし鎮守様　試験・就職たけなわなりて　南雲　幸雄
婆二人旅の案内指さして　迷う楽しさ雪の間にこそ　丸山　鈴枝
幼き日囲炉裏の焼き餅しょうが味噌　家族で祝う小正月の朝　割田　京子
屋根の雪降ろす男の頭上よりなお　容赦なく雪は降り積む　若井　光子
眠られぬ春夜になにを慰むと　透きゆくまでに葛をかきをり　今成　愛子
真夜中にそっとカーテン開けて見る　雪なき空に星冴えわたる　青木　初美
義兄逝きし年を送りて注連飾　なき新年は手持ち無沙汰なり　大原　惇夫
赤ちゃんの目はぱんやりと見えるらし　抱かれし母の顔じっと見る　駒川ユキ子
積む雪に桜が折れる除雪苦に　心の枝が折れそうになる　山本　龍作

毎月最終金曜 午後一時～市民会館にて歌会開催。ご入会歓迎。
〒949-6361 南魚沼市大沢448
☎7831-2657
魚沼歌壇代表　山本　龍作